

議会 Assembly

福智町議会議長



大島 道人

新年おめでとうございます。新春を迎え、皆様には心よりお喜びを申し上げますとともに、本年がすばらしい年となりますようお祈り申し上げます。

昨年は、大きな転換の年でありました。政治の大きな変動の波が起こり、政権交代が行われました。この政権交代がどのような形で私たちの生活や地方自治に影響を与えるのか、注意深く見つめていかなくてはなりません。また、私たちが取り巻く経済の状況は非常に厳しいものがあります。一昨年から経済危機は底を打ったとは言われていますが、失業者の増大など雇用情勢はますます深刻になっています。働きたくても働く場所がなく、収入も減少するなど、暮らしを支える基盤が崩れようとしており、国、県、市町村が一丸となった総合的な対応が必要となっています。このような厳しい状況の中、福智町は合併後四年を迎えます。この間を振り返ってみますと、診療所の合理化など一定の成果はあがっていますが、公共施設の統廃合、滞納問題など、まだまだ多くの課題を抱えています。今、福智町が早急に取り組まなければならないことは行財政改革です。福智町は旧三町とも過去に財政再建団体という苦い経験をしています。再建団体中は、町民に負担をかけ、町は再建計画に基づき脱却に努めました。しかし現在、再び厳しい財政状況となっています。今後、二度と財政再建団体に陥らないため、また、町民の皆様方に迷惑をかけるためにも、健全な財政運営を図る必要があります。議会としましては、行政に対し、発展的な行政の運営を求めるとともに、議会自ら積極的な提言を行っていきたくと考えています。また、多くの町民の皆さんのご意見をお聞きしながら、公平で民主的な行政運営が行われているかを日々検証し、福智町が旧三町の垣根を超え、自立し、明るい未来に向けて確実な歩を進めるよう、住民と行政の橋渡し役として力を尽くす限りであります。

今後とも議会に対するご理解とご支援を賜りますようお願いを申しあげ、新年の挨拶といたします。

行政 Administration

福智町長



浦田 弘二

新年あけましておめでとうございます。みなさまにおかれましては、健やかなお気持ちで新春をお迎えのことと存じます。また、町政推進にあたり格別なるご理解とご協力をいただいておりますことに、衷心よりお礼申し上げます。

福智町も、この3月には満4歳になりますが、合併当初にくらべると随分一体感が芽生えてきたのではないのでしょうか。これまで、いろんな機会を通して一体感こそ、まちづくりにとって絶対に欠かせない条件であると申し上げてまいりましたが、漸くその状況が整いつつあります。これも、町民のみなさまのお力添えのおかげだと、改めて敬意を表したいと思います。また、福智町の各計画づくりに、町民の代表の方へ公募および依頼によるご参加をいただき、策定作業を進めてきましたが、時間を割いてご尽力くださいましたみなさまに、心から感謝の誠を捧げたいと存じます。現在、それぞれの計画の実施につき鋭意努力を重ねていますが、財政の健全化をはじめ、行財政改革（公共施設の統廃合を含む）、教育の充実、観光立町としての環境整備・農業振興・雇用の場の創出・高齢者の方や障害を持たれている人に対する取り組みなど課題も多く、更に町民のみなさまと連携を深めながら、その目標達成を果たしたいと考えています。いずれも町勢浮揚のカギを握る重要な課題ばかりでありますし、揺るぎない決意で実現を図っていかねばならないと肝に銘じているところでございます。昨年8月末の総選挙で政権交代がなされたのはご案内のとおりですが、このことを他山の石として、常に生活者の目線に立った行政運営を心がけてまいりたいと存じます。ご意見、ご要望がございましたら、率直にお聞かせいただけたらと思います。どうか、これまでに倍して、ふるさと・福智町の発展のためにご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。結びにあたり、町民のみなさまお一人おひとりのご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。